



ディプロマ・ポリシー

理学療法学科	保健医療学部
<p>高い倫理観</p> <p>②医療における理学療法の役割、とくにその倫理的側面を理解し行動できる。</p> <p>豊かな人間性</p> <p>①幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。</p> <p>高い倫理観/豊かな人間性</p> <p>③全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、患者さんを思いやり、病める人の視点で考える態度をもち、個性を重視した理学療法を行うことができる。</p>	<p>①人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。</p>
<p>国際水準の知識と技術</p> <p>⑤多様な臨床現場で実践可能な基本的な理学療法技術を身につける。</p> <p>問題解決能力と探究心</p> <p>④患者さんの身体的、心理的問題を解決するために、医学的知識を活用し、科学的根拠をもった適切な判断ができる。</p> <p>⑦理学療法の実践の中から理学療法研究の課題を発見し、それを発展させることができる。</p> <p>内省(自らの能力の限界を知る)/生涯学習</p> <p>⑩常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。</p>	<p>②保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。</p>
<p>協調性と協力</p> <p>⑥チーム医療の中で調整・連携の役割をはたすための適切なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>医療安全</p> <p>⑧医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。</p> <p>地域医療への貢献</p> <p>⑨保健・福祉・医療チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。</p>	<p>③協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につなぐに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。</p>

【令和7年度 理学療法学科4年次 時間割表】

<前期>

* : 選択科目

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30						
2 10:40 ~ 12:10						
3 13:10 ~ 14:40		総合臨床実習Ⅱ(國澤) 総合臨床実習Ⅲ(國澤)				
4 14:50 ~ 16:20						
5 16:30 ~ 18:00						

・地域理学療法臨床実習(國澤)

<後期>

時限	月曜日 [川角]	火曜日 [川角]	水曜日 [川角]	木曜日 [川角]	金曜日 [川角]	土曜日	
1 9:00 ~ 10:30	理学療法評価学Ⅲ (新井)	理学療法機器技術学* (大久保)	代謝理学療法学* (新井)		理学療法研究セミナー (高倉)		
		リハビリテーション工学* (三浦)					
2 10:40 ~ 12:10		理学療法機器技術学* (大久保)					
		リハビリテーション工学* (三浦)					
3 13:10 ~ 14:40	予防理学療法学* (新井)	スポーツ理学療法学* (赤坂)		保健科学統計学演習 (高倉)			
4 14:50 ~ 16:20				保健科学統計学演習 (高倉)			
5 16:30 ~ 18:00				保健科学統計学演習 (高倉)			

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

目 次

科目名(科目責任者)

<専門分野>

—理学療法評価学—

理学療法評価学Ⅲ（新井 智之） 9

—理学療法治療学—

理学療法機器技術学（大久保 雄） 15

リハビリテーション工学（三浦 佳代） 17

代謝理学療法学（新井 智之） 19

スポーツ理学療法学（赤坂 清和） 22

予防理学療法学（新井 智之） 25

保健科学統計学演習（高倉 保幸） 29

—臨床実習—

地域理学療法臨床実習（國澤 洋介） 33

総合臨床実習Ⅱ（國澤 洋介） 35

総合臨床実習Ⅲ（國澤 洋介） 37

理学療法研究セミナー（高倉 保幸） 39

講義名	理学療法評価学Ⅲ		
(副題)	専門分野（理学療法評価学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 新井 智之	理学療法学科教員

担当教員	新井 智之・高倉 保幸・赤坂 清和・國澤 洋介・時田幸之輔・澤田 豊・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・師岡 祐輔・三浦 佳代・森田 泰裕・服部 寛・清水 夏生・姉帯 沙織・飛田 和基・甘利 貴志
科目の目標	理学療法評価学入門, I, II および総合臨床実習Ⅰ～Ⅲで学んだ内容を踏まえ、模擬症例を通して、検査項目の選択と検査の実施、検査結果の判断、統合と解釈、生活機能分類（ICF）の整理、プログラム立案といった理学療法評価の過程を具体的に演習し、理学療法評価の基礎から応用まで総合的に学習することを目標とする。加えて、本科目では、理学療法の専門基礎分野と専門分野を包括的に学習することで、国家試験レベルの問題にも対応できる知識・技術を習得することを目標とする。
学習の具体的な目標	講義, グループワーク, ディスカッション, プレゼンテーションを通して、以下の学習目標を修得する。 1) 疾患ごとの理学療法評価方法について説明できる。 2) 疾患ごとの理学療法のポイントについて説明できる。 3) 理学療法国家試験の専門基礎分野および専門分野の過去問題を解くことができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	理学療法評価学総論		
	授業内容	1. 理学療法評価の考え方について概説できる。 2. 疾患ごとに適切な理学療法評価の項目を挙げることができる。 3. 理学療法評価学分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	理学療法評価学総論		
	授業内容	1. 理学療法評価の考え方について概説できる。 2. 疾患ごとに適切な理学療法評価の項目を挙げることができる。 3. 理学療法評価学分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	呼吸循環代謝疾患の評価と理学療法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸循環代謝疾患の評価方法について説明できる。 呼吸循環代謝疾患の理学療法の方法について説明できる。 呼吸循環代謝分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	呼吸循環代謝疾患の評価と理学療法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸循環代謝疾患の評価方法について説明できる。 呼吸循環代謝疾患の理学療法の方法について説明できる。 呼吸循環代謝分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	呼吸循環代謝疾患の評価と理学療法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸循環代謝疾患の評価方法について説明できる。 呼吸循環代謝疾患の理学療法の方法について説明できる。 呼吸循環代謝分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	新井・森田・三浦・飛田・甘利		
	テーマ	呼吸循環代謝疾患の評価と理学療法および小テスト		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸循環代謝疾患の評価方法について説明できる。 呼吸循環代謝疾患の理学療法の方法について説明できる。 呼吸循環代謝分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 第1回～第6回目の内容について的小テストを実施する。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	時田・姉帯		
	テーマ	解剖学と生理学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 解剖学と生理学の知識を生かした理学療法の評価方法について説明できる。 解剖学と生理学の知識を生かした運動療法の方法について説明できる。 解剖生理学分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	時田・姉帯		
	テーマ	解剖学と生理学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 解剖学と生理学の知識を生かした理学療法の評価方法について説明できる。 解剖学と生理学の知識を生かした運動療法の方法について説明できる。 解剖生理学分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	時田・姉帯		
	テーマ	解剖学と生理学		
	授業内容			

1. 解剖学と生理学の知識を生かした理学療法の評価方法について説明できる。
2. 解剖学と生理学の知識を生かした運動療法の方法について説明できる。
3. 解剖生理学分野の国家試験の過去問題を解くことができる。
(予習時間30分, 復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	時田・姉帯		
	テーマ	解剖学・生理学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖学と生理学の知識を生かした理学療法の評価方法について説明できる。 2. 解剖学と生理学の知識を生かした運動療法の方法について説明できる。 3. 解剖生理学分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	時田・姉帯		
	テーマ	物理療法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理療法の評価方法について説明できる。 2. 効果的な物理療法の方法について説明できる。 3. 物理療法分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	時田・姉帯		
	テーマ	物理療法と小テスト		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理療法の評価方法について説明できる。 2. 効果的な物理療法の方法について説明できる。 3. 物理療法分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 4. 第7回～第12回目の内容について的小テストを実施する。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	赤坂・澤田・服部		
	テーマ	運動学と生体工学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動学と生体工学の知識を生かした理学療法の評価方法について説明できる。 2. 運動学と生体工学の知識を生かした運動療法の方法について説明できる。 3. 運動学と生体工学の分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	赤坂・澤田・服部		
	テーマ	運動学と生体工学		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動学と生体工学の知識を生かした理学療法の評価方法について説明できる。 2. 運動学と生体工学の知識を生かした運動療法の方法について説明できる。 3. 運動学と生体工学の分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	赤坂・澤田・服部		
	テーマ	整形外科の評価と理学療法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 整形外科疾患の評価方法について説明できる。 2. 整形外科疾患の理学療法の方法について説明できる。 3. 整形外科分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
16	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	赤坂・澤田・服部		

テーマ	整形外科の評価と理学療法			
授業内容	1. 整形外科疾患の評価方法について説明できる。 2. 整形外科疾患の理学療法の方法について説明できる。 3. 整形外科分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 4. 第13回～第16回目の内容についての小テストを実施する。 (予習時間30分, 復習時間30分)			
17	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	小児領域の評価と理学療法		
	授業内容	1. 小児分野の評価方法について説明できる。 2. 小児分野の理学療法の方法について説明できる。 3. 小児分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	小児領域の評価と理学療法		
	授業内容	1. 小児分野の評価方法について説明できる。 2. 小児分野の理学療法の方法について説明できる。 3. 小児分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	脳血管障害の評価と理学療法		
	授業内容	1. 脳血管障害の評価方法について説明できる。 2. 脳血管障害の理学療法の方法について説明できる。 3. 脳血管障害の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	脳血管障害の評価と理学療法		
	授業内容	1. 脳血管障害の評価方法について説明できる。 2. 脳血管障害の理学療法の方法について説明できる。 3. 脳血管障害の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	神経・筋障害の評価と理学療法		
	授業内容	1. 神経・筋障害の評価方法について説明できる。 2. 神経・筋障害の理学療法の方法について説明できる。 3. 神経・筋障害分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	神経・筋障害の評価と理学療法		
	授業内容	1. 神経・筋障害の評価方法について説明できる。 2. 神経・筋障害の理学療法の方法について説明できる。 3. 神経・筋障害分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	1限

講義室	203			
担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水			
テーマ	脊髄損傷の評価と理学療法			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 脊髄損傷の評価方法について説明できる。 脊髄損傷の理学療法の方法について説明できる。 脊髄損傷分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 			
24	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	脊髄損傷の評価と理学療法、小テスト		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 脊髄損傷の評価方法について説明できる。 脊髄損傷の理学療法の方法について説明できる。 脊髄損傷分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 第17回～第24回目の内容について的小テストを実施する。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	義肢装具		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 義肢装具の評価方法について説明できる。 義肢装具の理学療法の方法について説明できる。 義肢装具分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	高倉・國澤・金井・小関・師岡・清水		
	テーマ	義肢装具		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 義肢装具の評価方法について説明できる。 義肢装具の理学療法の方法について説明できる。 義肢装具分野の国家試験の過去問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	1限
	講義室	203		
	担当者	新井・澤田		
	テーマ	理学療法評価学のまとめと総合的な国家試験対策		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 理学療法における評価の全体的な流れが概説できる。 理学療法の統合と解釈の方法について概説できる。 理学療法国家試験の専門基礎分野の問題を解くことができる。 理学療法国家試験の専門分野の問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	2限
	講義室	203		
	担当者	新井・澤田		
	テーマ	理学療法評価学のまとめと総合的な国家試験対策		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 理学療法における評価の全体的な流れが概説できる。 理学療法の統合と解釈の方法について概説できる。 理学療法国家試験の専門基礎分野の問題を解くことができる。 理学療法国家試験の専門分野の問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分) 		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・澤田		
	テーマ	理学療法評価学のまとめと総合的な国家試験対策		
	授業内容			

1. 理学療法における評価の全体的な流れが概説できる。 2. 理学療法の統合と解釈の方法について概説できる。 3. 理学療法国家試験の専門基礎分野の問題を解くことができる。 4. 理学療法国家試験の専門分野の問題を解くことができる。 (予習時間30分, 復習時間30分)				
30	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	新井・澤田		
	テーマ	理学療法評価学のまとめと総合的な国家試験対策、小テスト		
	授業内容	1. 理学療法における評価の全体的な流れが概説できる。 2. 理学療法の統合と解釈の方法について概説できる。 3. 理学療法国家試験の専門基礎分野の問題を解くことができる。 4. 理学療法国家試験の専門分野の問題を解くことができる。 5. 第25回～第30回目の内容について的小テストを実施する。 (予習時間30分, 復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験期間中の筆記試験、及び再試験は実施しない。 2. 出席状況、授業態度、グループワークへの参加、プレゼンテーションやレポートの内容、授業期間中に実施する小テストにより、総合的に判断して評価する。			
教科書	1. クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2026共通問題 2. クエスチョン・バンク 理学療法士国家試験問題解説 2026専門問題			
参考書	適宜資料を配布する。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【新井 智之】 ・月曜日の13時30分から18時30分 ・上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-Mail : arai_tm@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。 また余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。 さらに小テストの復習を行うことを心がけてください。 (予習時間30分, 復習時間30分)			

講義名	理学療法機器技術学		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 大久保 雄	理学療法学科教員

担当教員	大久保 雄・時田幸之輔・服部 寛
科目の目標	今後の臨床応用が大いに期待できる最新の理学療法機器についてグループワーク形式にて紹介し、演習形式でその原理、使用方法、効果、臨床応用について学習する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 各機器の開発の経緯と原理について説明できる。 2) 各機器の使用方法を説明できる。 3) 各機器の臨床応用について、考察し説明できる。 4) 各機器の効果について説明できる。 * 授業形態：主に講義および機器のデモンストレーション

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	1限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	授業内容	テーマ 筋電図 1. 筋電計の開発の経緯と動作原理について説明できる。 2. 筋電計の使用方法について説明できる。 3. 筋電計の臨床応用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	2限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	授業内容	筋電図		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	1限
	講義室	301		
	担当者	服部・大久保		
	授業内容	超音波画像診断装置		

授業内容	1. 超音波画像診断装置の開発の経緯と動作原理について説明できる。 2. 超音波画像診断装置を使った骨格筋観察の原理を説明できる。 3. 超音波画像診断装置の理学療法分野における臨床応用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	2限
	講義室	301		
	担当者	服部・大久保		
	テーマ	超音波画像診断装置		
	授業内容	"		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	1限
	講義室	301		
	担当者	服部・大久保		
	テーマ	超音波エラストグラフィ		
	授業内容	1. 超音波エラストグラフィの原理について説明できる。 2. 超音波エラストグラフィの使用方法について説明できる。 3. 超音波エラストグラフィの臨床応用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	2限
	講義室	301		
	担当者	時田		
	テーマ	バイオフィードバック		
	授業内容	1. バイオフィードバックの開発の経緯と動作原理について説明できる。 2. バイオフィードバックの使用方法について説明できる。 3. バイオフィードバックの臨床応用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	1限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	テーマ	電気刺激療法		
	授業内容	1. 電気刺激療法の開発の経緯と動作原理について説明できる。 2. 制御信号入力用センサー、刺激装置、表面電極を用いて電気刺激療法を実施する。 3. 電気刺激療法の臨床応用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	2限
	講義室	301		
	担当者	大久保		
	テーマ	電気刺激療法		
	授業内容	"		
評価方法	出席状況、授業態度、課題への取り組みを総合的に判断して評価する。不合格者に対する再試験は実施しない。			
教科書	授業毎に内容に沿った資料を配布する。			
参考書	1. 標準理学療法学 専門分野 物理療法学、奈良勲監、医学書院 2. 理学療法ハンドブック 細田多穂 柳澤健 編集 協同医書出版社			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大久保雄】 月曜日2限目 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail : yokubo@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	・選択科目のため、日程や内容については受講人数などにより変更する可能性がある。 ・履修人数があまりにも少ない場合は、非開講となる可能性がある。(開講最少人数の目安：3~4名)			

講義名	リハビリテーション工学		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 三浦 佳代	理学療法学科教員

担当教員	三浦 佳代・時田幸之輔・森田 泰裕・飛田 和基・森田 俊光・齋藤 智之・種池 良太・万治 淳史
科目の目標	リハビリテーション医療・福祉分野における工学的支援の役割に対する理解を深め、臨床に応用できる。
学習の具体的な目標	講義と演習を通して以下の学習目標を修得する。 1) リハビリテーション工学について説明できる。 2) 身近な工具・工作用具が使用できる。 3) リハビリテーション医療関連分野における身近な工学的アイデアについて説明できる。 4) 作業を通して補装具・福祉用具等の合理性および改良点を発見できる。 グループ討議を通してアクティブラーニングとして行う。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	1限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	三浦・時田・森田(泰)・飛田		
	授業内容	オリエンテーション 1. オリエンテーション (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	2限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	三浦・時田・森田(泰)・飛田		
	授業内容	車椅子の調整 1. 車椅子の構造について説明できる。 2. タイヤ・フットレスト・プレーキの基本的整備ができる。 3. 作業を通して基本的工具・工作用具が使用できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	1限
	講義室	体育館		
	担当者	三浦・森田・齋藤・種池		

テーマ	競技用車いすの理解 パラスポーツ（車いすバスケットボール）体験			
授業内容	1. パラスポーツ（車いすバスケットボール）について説明できる。 2. 競技用車いすの特性について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
4	年月日（曜日）	令和 7年11月18日（火）	時限	2限
	講義室	体育館		
	担当者	三浦・森田・齋藤・種池		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
5	年月日（曜日）	令和 7年11月25日（火）	時限	1限
	講義室	102		
	担当者	三浦・万治		
	テーマ	リハビリテーション用ロボット		
	授業内容	1. ロボットをリハビリテーションに用いる意義について説明できる。 2. ロボットを用いたリハビリテーションのこれからについて考察できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年11月25日（火）	時限	2限
	講義室	102		
	担当者	三浦・万治		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日（曜日）	令和 7年12月02日（火）	時限	1限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	三浦		
	テーマ	電気刺激装置		
	授業内容	1. 電気刺激装置をリハビリテーションに用いる意義について説明できる。 2. 基本的な電気刺激装置の操作ができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年12月02日（火）	時限	2限
	講義室	ADL実習室		
	担当者	三浦		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
評価方法	出席および課題や作業への取り組み状況にて評価する。 試験および再試験は実施しない。			
教科書	基本的資料は配布予定			
参考書	1. リハビリテーションMOOK15 リハビリテーション工学と福祉機器. 千野直一他編 金原出版 2. 車いす・シーティング -その理解と実践-. 伊藤利之他監 はる書房 3. 障害者スポーツの臨界点 車椅子バスケットボールの日常の実践から. 渡正 新評論 4. リハビリテーション機器の工夫とアイデア. 田中宏太佳 他編 永井書店 * 改訂があれば最新版とする。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【オフィス・アワー】 ○下記の時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 【三浦佳代】月曜 4 限 E-mail : k_miura@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前には既学習内容について確認し、授業後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。 1. 作業の時は動きやすく、また多少汚れてもよい服装を用意する（詳細は事前に指示する）。 2. 授業においては適宜、グループワークとして行われる。			

講義名	代謝理学療法学		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 新井 智之	理学療法学科教員

担当教員	新井 智之・飛田 和基・甘利 貴志
科目の目標	代謝系疾患として代表的な疾患である糖尿病に対する理学療法を中心に、代謝異常の重症度に合わせた運動療法の進め方や、合併症への対策について教授する。また、広い概念としての「メタボリックシンドローム」を理解するとともに、運動療法の効果についても解説する。なお、近年の内部障害系理学療法のトピックスとして、閉塞性動脈硬化症や腎機能障害に対する理学療法の効果や方法についても教授する。
学習の具体的な目標	<p>学習の具体的な目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝系疾患の疫学研究について説明できる。 2. 糖尿病の病態・検査と治療について説明できる。 3. 代謝系疾患における合併症について説明できる。 4. 糖尿病性腎症の理解と運動療法について説明できる。 5. 腎疾患および糖尿病患者の評価について説明できる。 6. 糖尿病に対する理学療法について説明できる。 7. 糖尿病に対する運動療法の種類と方法について説明できる。 8. 閉塞性動脈硬化症に対する理学療法について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	1限
	講義室	201		
	担当者	新井・飛田・甘利		
	テーマ	代謝系理学療法概論		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝系理学療法における疫学について説明できる。 2. 久山町研究における疫学的背景を説明できる。 3. 1型・2型糖尿病の特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	2限
	講義室	201		
	担当者	飛田・甘利・新井		
	テーマ	閉塞性動脈硬化症に対する理学療法		
	授業内容			

1. 末梢動脈疾患について説明できる。 2. 理学療法プログラムについて説明できる。 3. 和温療法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
3	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	201		
	担当者	甘利・新井・飛田		
	テーマ	糖尿病の病態・検査と治療		
	授業内容	1. 糖尿病の診断について説明できる。 2. 糖尿病の病態と分類について説明できる。 3. 糖尿病の治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	201		
	担当者	甘利・新井・飛田		
	テーマ	運動療法における糖尿病合併症への対応		
	授業内容	1. 糖尿病性合併症について説明できる。 2. 急性合併症について説明できる。 3. 慢性合併症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限
	講義室	201		
	担当者	甘利・新井・飛田		
	テーマ	糖尿病性腎障害と心腎関連		
	授業内容	1. 腎機能障害の概念について説明できる。 2. 腎機能障害の評価指標について説明できる。 3. 心腎関連疾患について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	201		
	担当者	甘利・新井・飛田		
	テーマ	心腎疾患および糖尿病患者の評価		
	授業内容	1. 診察記録・資料からの情報収集について説明できる。 2. 患者に多面して行う評価について説明できる。 3. 情報収集と理学療法評価の実際について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	1限
	講義室	201		
	担当者	甘利・新井・飛田		
	テーマ	糖尿病に対する理学療法評価の実際		
	授業内容	1. 糖尿病治療における理学療法士の役割について説明できる。 2. 糖尿病患者における運動療法の効果について説明できる。 3. 運動療法の適応と禁忌について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	2限
	講義室	201		
	担当者	甘利・新井・飛田		
	テーマ	糖尿病に対する運動療法の種類と方法		
	授業内容	1. 運動療法の種類と方法について説明できる。 2. 運動療法上の注意点について説明できる。 3. 運動を継続するための方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 出席状況、授業態度、課題やレポート、授業内で実施する小テストなどにより、総合的に評価する。定期試験期間中の試験実施なし。			
教科書	適宜資料の配付を行う。			

参考書	適宜資料の配布を行う。
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【担当教員共通】 月曜日 9:00-16:00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。</p> <p>【新井智之】 E-mail : arai_tm@saitama-med.ac.jp 【飛田和基】 E-mail : k_tobita@saitama-med.ac.jp 【甘利貴志】 E-mail : k_tobita@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日には前回の資料を復習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。予習時間30分、復習時間30分。</p>

講義名	スポーツ理学療法学		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 赤坂 清和	理学療法学科教員

担当教員	赤坂 清和・澤田 豊・大久保 雄・服部 寛
科目の目標	スポーツ外傷による急性・慢性の障害像について理解し、アスリートやスポーツ愛好家などに対して理学療法士が関わる場合に必要な知識と理学療法の手技について習得することを目標とする。
学習の具体的な目標	講義とグループワークを通して以下の学習目標を修得する。 1) スポーツ外傷に対する理学療法士の関わり、身体検査の重要性について説明することができる。 2) コアスタビリティについて理解し、実施することができる。 3) スポーツ競技における上肢の障害についての説明と必要な理学療法を実施することができる。 4) スポーツ競技における下肢の障害についての説明と必要な理学療法を実施することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂		
	授業内容	1. スポーツ活動に携わる理学療法士の活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	赤坂		
	授業内容	1. スポーツ外傷に関する理学療法のエビデンスの中から、身体評価及び治療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	スポーツ障害における下肢機能障害 (1)		

授業内容	1. スポーツ障害による下肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	スポーツ障害における下肢機能障害(2)		
	授業内容	1. スポーツ障害による下肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	スポーツ障害における下肢機能障害(3)		
	授業内容	1. スポーツ障害による体幹における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	澤田		
	テーマ	スポーツ障害における下肢機能障害(4)		
	授業内容	1. スポーツ障害による下肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ障害における体幹機能障害(1)		
	授業内容	1. スポーツ障害による体幹における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ障害における体幹機能障害(2)		
	授業内容	1. スポーツ障害による体幹における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ障害における体幹機能障害(3)		
	授業内容	1. スポーツ障害による体幹における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ障害における体幹機能障害(4)		
	授業内容	1. スポーツ障害による体幹における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ障害における上肢機能障害(1)		
	授業内容	1. スポーツ障害による上肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

12	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	大久保		
	テーマ	スポーツ障害における上肢機能障害(2)		
	授業内容	1. スポーツ障害による上肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	3限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部		
	テーマ	スポーツ障害における上肢機能障害(3)		
	授業内容	1. スポーツ障害による上肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	4限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部		
	テーマ	スポーツ障害における上肢機能障害(4)		
	授業内容	1. スポーツ障害による上肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	5限
	講義室	運動療法実習室1		
	担当者	服部		
	テーマ	スポーツ障害における上肢機能障害(5)		
	授業内容	1. スポーツ障害による上肢における機能障害の特徴と理学療法の評価と治療手技について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	出席及びレポートにより判定し、定期試験期間中の試験及び再試験は実施しない。 また、レポート提出を課した場合にはコメントを返す。
教科書	1. 改訂第2版スポーツ理学療法学、赤坂 清和 他著、メジカルビュー社
参考書	1. 臨床スポーツ医学、Peter Bruckner & Karim Khan 他編著、靱山日出樹 他編、医学映像教育センター 2. 筋骨格系のキネシオロジー、原著第3版、Donald A. Neumann、医歯薬出版
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【赤坂 清和】 月曜日と金曜日の13-16時とする。 上記時間帯に訪問することが難しい場合には、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : akasaka-smc@umin.ac.jp
履修上の注意、履修要件	実技の内容に合わせて、運動のしやすい服装、短パンTシャツなどに着替えておくこと。授業前日には教科書の該当ページを予習して十分理解しておくこと。さらに、放課後には学習内容の見直しを行い、講義内容の定着に努めること。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認、スポーツ現場で理学療法士の活動を見学するなどにより、学習内容を深めることに心掛けてください。

講義名	予防理学療法学		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 新井 智之	理学療法学科教員

担当教員	新井 智之・森田 泰裕・三浦 佳代・飛田 和基・甘利 貴志
科目の目標	我が国は超高齢社会を迎えており、これまでのように病気を治すことに加えて、病気にならないための方略、すなわち「予防」という概念が重要となる。感染症や多くの病気を制御することに成功し、世界有数の長寿国になった我が国においては、この予防に対する概念と具体的な方略が重要視される。理学療法の効果や方法についても教授する。また、グループ討議を通してアクティブラーニングとして行う。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防理学療法概説 2. 高齢者の健康、老年症候群と介護予防 3. 加齢による心身機能の変化と高齢者総合機能評価 4. ロコモティブシンドローム（ロコモ）とフレイルの予防 5. サルコペニア、低栄養の予防 6. 転倒予防 7. 骨粗鬆症・骨折の予防 8. 認知症と軽度認知機能障害 9. ウィメンズヘルス・メンズヘルス分野における予防 10. メタボリックシンドロームの予防と内部疾患の再発予防 11. 産業分野における予防理学療法 12. 健康行動学からみた予防理学療法① 13. 健康行動学からみた予防理学療法② 14. コミュニティープロモーション、地域づくり 15. 予防理学療法の考え方の実際、まとめ

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・甘利		
	テーマ	予防理学療法概説		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防理学療法学の定義が説明できる。 2. 予防理学療法学の領域が説明できる。 3. 医療保健制度と介護保険制度について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
2	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	4限
	講義室	203		

担当者	新井・甘利			
テーマ	高齢者の健康、老年症候群と介護予防			
授業内容	1. 健康と老化の概念が説明できる 2. 老年症候群の概念について説明できる 3. 介護予防の考え方が概説できる (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・飛田		
	テーマ	加齢による心身機能の変化と高齢者総合機能評価		
	授業内容	1. 加齢に伴う身体機能、生理機能の変化について説明できる 2. 加齢に伴い精神心理、社会的な変化について説明できる 3. 高齢者の総合機能評価について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	森田・飛田		
	テーマ	ロコモティブシンドローム(ロコモ)とフレイルの予防		
	授業内容	1. ロコモティブシンドロームとフレイルの概念を説明できる。 2. ロコモとフレイルの判定方法を説明できる。 3. ロコモとフレイルの予防理学療法の実際について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	森田・甘利		
	テーマ	サルコペニア、低栄養の予防		
	授業内容	1. サルコペニアの定義と判定方法について説明できる。 2. 低栄養の定義とその原因、評価方法について説明できる。 3. サルコペニアと低栄養の予防・改善の考え方について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	森田・甘利		
	テーマ	転倒予防		
	授業内容	1. 高齢者の転倒の要因について説明できる。 2. 高齢者の転倒リスクの評価方法について説明できる 3. 高齢者の転倒予防の考え方、効果的な介入方法について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・飛田		
	テーマ	骨粗鬆症・骨折の予防		
	授業内容	1. 骨粗鬆症の定義および高齢者に多い骨折について説明できる 2. 骨粗鬆症に対する予防理学療法について説明できる。 3. 骨粗鬆症、骨折予防の取り組み(骨粗鬆症リエゾンサービス)について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	三浦・飛田		
	テーマ	認知症と軽度認知機能障害		
	授業内容	1. 認知症の定義と分類について説明できる。 2. 認知症の重症度について説明できる。 3. 主な認知症性疾患の病態と症状が説明できる。 4. 認知症、軽度認知障害に対する理学療法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	3限

講義室	203			
担当者	三浦・甘利			
テーマ	ウィメンズヘルス・メンズヘルス分野における予防			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒトの性差について説明できる 2. 高齢者の尿失禁とその対策について説明できる 3. 産前・産後の予防理学療法のポイントについて説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 			
10	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	飛田・新井		
	テーマ	メタボリックシンドロームと内部疾患の再発予防		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタボリックシンドロームの定義と評価法について説明できる 2. メタボリックシンドロームの予防方法について説明できる 3. メタボリックシンドロームの予防が説明できる 4. 内部疾患の再発予防が説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
11	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	新井・甘利		
	テーマ	産業界における予防理学療法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産業界における予防理学療法のポイントについて説明できる 2. 特定保健指導における理学療法士の役割について説明できる 3. 両立支援における理学療法士の役割について説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
12	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	三浦・甘利・新井		
	テーマ	健康行動学からみた予防理学療法①		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動変容モデルについて説明できる 2. 個人レベルにおける健康行動理論について説明できる 3. 健康行動学からみた予防理学療法のハイリスクアプローチについて説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	3限
	講義室	203		
	担当者	三浦・甘利・新井		
	テーマ	健康行動学からみた予防理学療法②		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人レベルおよび集団における健康行動理論について説明できる 2. ヘルスコミュニケーションの実際と現状の課題について説明できる 3. 健康行動学からみた予防理学療法のポピュレーションアプローチについて説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	4限
	講義室	203		
	担当者	新井		
	テーマ	コミュニティプロモーション、地域づくり		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート、ソーシャルキャピタルについて説明できる 2. 地域包括ケアについて説明できる 3. コミュニティ・プロモーション(住民主体介護予防、地域づくりによる介護予防)について説明できる (予習時間30分、復習時間30分) 		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	5限
	講義室	203		
	担当者	新井		
	テーマ	予防理学療法の考え方の実際、まとめ		
	授業内容			

1. 症例を通じて、予防理学療法の実践方法について議論し、説明できる。
2. 地域の実例を通して、予防理学療法の実践方法について議論し、説明できる
(予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	1. 出席状況、授業態度、課題やレポート、小テストなどにより、総合的に評価する。定期試験期間中の試験実施なし。
教科書	授業において適宜資料の配布を行う。
参考書	大淵修一・浦辺幸夫 監修: 予防理学療法要論。医歯薬出版株式会社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【担当教員共通】 月曜日 9:00-16:00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 【新井智之】E-mail: arai_tm@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	○授業前日には参考書から該当部分を予習し、授業内容の事前学習を行うこと(予習時間30分、復習時間30分)。 ○症例検討を設けてあり、配布資料を元に小グループでのグループワークとディスカッションならびに発表を行うため、積極的な授業態度や発言が求められる。

講義名	保健科学統計学演習		
(副題)	専門分野（理学療法治療学）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・國澤 洋介・師岡 祐輔・清水 夏生
科目の目標	<p>理学療法士としての臨床研究に必要な基本的な統計処理を行い、適切に論文を作成することができる。</p> <p>なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラムになっている。全学共通データサイエンスAI学修プログラムは、データサイエンス・AI 数理への関心を高め、かつそれを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的としている。授業では、グループワークと統計演習を適宜行うアクティブラーニング形式の授業である。日程については、卒業論文に必要な学修を含むため後期前半に集中して行う</p>
学習の具体的な目標	<p>データサイエンス・AI 数理を医療の現場で利活用するために公表されている国の統計データを活用し、必要な基礎的な素養を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公表されている国の統計データを活用できる。 2) データを要約し適切に記述することができる。 3) 適切な論文の書き方を説明できる。 4) 平均値の比較を行い、結果の解釈と説明ができる。 5) カイ二乗検定を行い、結果の解釈と説明ができる。 6) 一元配置分散分析と多重比較を行い、結果の解釈と説明ができる。 7) 相関と回帰分析を行い、結果の解釈と説明ができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	3限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方①		
	授業内容	1. 論文の構成を説明できる 2. タイトルとキーワードを適切に記載する (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	4限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方②		
	授業内容			

序論を適切に記載する
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	5限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方③		
	授業内容	対象を適切に記載する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	統計の基礎知識、データベースの作成		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国が公表している統計データを取得できる。 2. 取得した統計データを加工・解析・可視化できる。 3. 統計データからわかることを他者に伝達できる。 4. 尺度の種類を説明し、基本統計量について説明できる。 5. データベースを作成し、尺度に合わせて適切にデータを要約できる。 6. 要約したデータに合わせて適切なグラフや表を作成できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	t検定 マン・ホイットニ検定		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. t検定を行うことができる。 2. 検定の結果を解釈し、説明することができる。 3. マンホイットニ検定を行うことができる。 4. 検定の結果を解釈し、説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	5限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	対応のあるt検定 ウィルコクソン符号付き順位和検定		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対応のあるt検定を行うことができる。 2. 検定の結果を解釈し、説明することができる。 3. ウィルコクソン符号付順位和検定を行うことができる。 4. 検定の結果を解釈し、説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	3限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方④		
	授業内容	結果を適切に記載する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	4限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方⑤		
	授業内容	結果を適切に記載する (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	5限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方⑥		

授業内容	考察を適切に記載する。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	3限
	講義室	PC教室		
	担当者	師岡・國澤		
	テーマ	分割表、 χ^2 検定、マクネマ検定、リスク比・オッズ比		
	授業内容	1. 分割表を作成できる。 2. χ^2 検定、マクネマ検定を実施し、結果を説明できる。 3. リスク比・オッズ比を算出し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	4限
	講義室	102		
	担当者	國澤・師岡		
	テーマ	一元配置分散分析 多重比較法		
	授業内容	一元配置分散分析、多重比較検定を行い、結果を解釈して説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	5限
	講義室	PC教室		
	担当者	國澤・師岡		
	テーマ	二元配置分散分析 反復測定		
	授業内容	1. 二元配置分散分析を行い、結果を解釈して説明することができる。 2. 反復測定を行い、結果を解釈して説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	3限
	講義室	102		
	担当者	高倉・清水		
	テーマ	論文の書き方⑦		
	授業内容	論文を査読する。 査読に対する回答書を作成する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	4限
	講義室	PC教室		
	担当者	國澤・師岡		
	テーマ	相関・回帰 単回帰分析		
	授業内容	1. 相関係数を求め回帰分析を行うことができる。 2. 単回帰分析を実行し、結果を説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	5限
	講義室	PC教室		
	担当者	國澤・師岡		
	テーマ	重回帰分析 ロジスティック回帰分析		
	授業内容	1. 重回帰分析を実行し、結果を説明できる。 2. ロジスティック回帰分析を実行し、結果を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	出席と授業態度、課題レポートなどで総合的に評価する。再試験は行わない。また、レポートについては返却時にコメントを返す。			
教科書	1. リハビリテーション統計学 (15レクチャーシリーズ)、対馬栄輝編、中山書店			
参考書	1. SPSSで学ぶ医療系データ解析、対馬栄輝著、東京図書 2. 臨床研究First stage、網本 和・高倉保幸編、医学書院			

連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉 保幸】 月曜日12:00~13:00 それ以外の時間での面接希望者は事前にメールにてアポイントメントを取ること。 メールアドレス: takakura@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>授業前日には教科書の該当部分を予習し、演習内容の意味を理解しておくこと。授業後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。なおレポート課題は提出期限を指示するので期限内に提出すること。</p>

講義名	地域理学療法臨床実習		
(副題)	専門分野（臨床実習）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日		代表時限	
校地	川角キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 國澤 洋介	理学療法学科教員

担当教員	國澤 洋介・高倉 保幸・赤坂 清和・新井 智之・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・澤田 豊・時田幸之輔・森田 泰裕・師岡 祐輔・三浦 佳代・姉帯 沙織・清水 夏生・飛田 和基・服部 寛・甘利 貴志
科目の目標	地域理学療法臨床実習においては、地域での理学療法活動に参加することを通して、地域で生活をしながら療養する対象者を総合的に理解し、対象者とその家族の障害・生活に応じた個別的な理学療法過程を、情報収集から評価まで体験的に学習する。また、地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）における理学療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を実践的に学ぶ。
学習の具体的な目標	実習を通して以下の学習目標を修得する。 ①地域における理学療法士の役割や業務を説明できる。 ②地域包括ケアシステムにかかわる多職種の役割を説明できる。 ③通所・訪問リハビリテーション利用者の理学療法を見学・体験する。 ④ケアプランの立案過程を説明できる。
授業計画表	
実習期間：5日間（月曜日～金曜日）とし、7月28日（月）～9月19日（金）の期間中に実施する。事前学習・事後学習は別に日を指定する。	
評価方法	1. 実習期間中の4/5以上の出席により、評価と単位認定の対象とする。 ※実習中に欠席と認めるのは、病気や急引きなどの正当な理由がある場合だけである。 2. 単位の認定にあたっては、出席状況、作成課題、事前・事後学習による評価、到達度評価の結果などをもとに理学療法学科内の判定会議にて総合的に判定する。 3. 必要に応じて学内・学外補習を行う。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	適宜プリントを配布する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 欠席連絡を含め、実習期間中の連絡は川角事務室を窓口とする。 【國澤 洋介】 月～金曜日の12時10分～13時10分 E-mail : kawakado@saitama-med.ac.jp, kunisawa@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	実習の前には実習に必要な知識・技術について十分に準備・確認すること。実習に対しての具体的な目標を設定し、目標が達成できるように努力を怠らない事。また、実習中および終了後には指定された課題を遂行し、要求水準を満たすとともに、提出等の時間を厳守すること。

(予習時間30分、復習時間30分)

<履修要件>

- 1) 4年次に在籍していること
- 2) 3年次までのすべての専門基礎科目および専門科目の単位を修得していること
- 3) 履修する前年度の客観的臨床能力試験 (OSCE) を合格していること
- 4) 履修する前年度の総合臨床実習を履修ないし体験していること

なお、臨床実習科目の履修については、各科目の履修要件を満たすとともに、これまでの学修状況なども踏まえ、臨床実習に関する判定会議にて総合的に判定します。

<注意事項>

臨床実習に伴う事前指導 (ガイダンスなど)、事後学習、および症例検討会は、全て臨床実習の一部であり、臨床現場での実習と同様に評価の対象となる。臨床現場における実習において優れた学習成果を修めても、学内における学習活動に問題があれば単位を認定しないことがある。その他、実習に必要な注意事項については、ガイダンスなどで指導する。

講義名	総合臨床実習Ⅱ		
(副題)	専門分野（臨床実習）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	6	時間	270.00
代表曜日		代表時限	
校地	川角キャンパス		
単位数	6単位/270時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 國澤 洋介	理学療法学科教員

担当教員	國澤 洋介・高倉 保幸・赤坂 清和・新井 智之・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・澤田 豊・時田幸之輔・森田 泰裕・師岡 祐輔・三浦 佳代・姉帯 沙織・清水 夏生・飛田 和基・服部 寛・甘利 貴志
科目の目標	日本理学療法士協会が「臨床実習の手引き」で提示する到達目標に従い、総合臨床実習Ⅱにおいては、臨床実習指導者の監督・指導の下に、医療チームの一員として基本的な理学療法が適切に行えるようになることを目的とする。さらに、臨床において生じた問題点に対して、自ら解決していこうとする態度を身につけることも重要な位置づけとする。
学習の具体的な目標	実習を通して以下の学習目標を修得する。 ①必要な検査・測定を迅速、かつ安全・正確に実施できる。 ②複数症例の実施計画書を作成する。 ③検査・測定の結果を統合・解釈し、生活機能（障害像）を説明し、討論できる。 ④複数症例について生活機能（障害像）から目標とプログラムを説明できる。 ⑤状況に合わせて修正を行いながらプログラムを体験する。 ⑥効果判定を行い、結果を説明できる。 ⑦模擬診療録を作成できる。
授業計画表	実習期間：4月7日（月）～5月23日（金） 事後学習：5月26日（月）～5月30日（金） 症例検討会：5月30日（金）
評価方法	1. 実習期間中の4/5以上の出席により、評価と単位認定の対象とする。 ※実習中に欠席と認めるのは、病気や急引きなどの正当な理由がある場合だけである。 2. 単位の認定にあたっては、出席状況、作成課題、実習目標共有シート（チェックリスト）、実習前・実習後の評価、症例検討会の内容、到達度評価の結果などをもとに理学療法学科内の判定会議にて総合的に判定する。 3. 実習前評価では、臨床実習に参加する上で必要な知識・技術・態度などを評価する。 4. 実習後評価では、実習を通して修得した知識・技術・態度などの到達度を評価する。 5. 必要に応じて学内・学外補習を行う。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	1. 標準理学療法学 理学療法 臨床実習とケーススタディー 医学書院 2. ケースで学ぶ理学療法臨床思考 文光堂 3. 問題解決モデルで見える理学療法臨床思考 文光堂
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 欠席連絡を含め、実習期間中の連絡は川角事務室を窓口とする。 【國澤 洋介】

	<p>月～金曜日の12時10分～13時10分 E-mail : kawakado@saitama-med.ac.jp, kunisawa@saitama-med.ac.jp</p>
<p>履修上の注意、履修要件</p>	<p>実習の前には実習に必要な知識・技術について十分に準備・確認すること。実習に対しての具体的目標を設定し、目標が達成できるように努力を怠らない事。また、実習中および終了後には指定された課題を遂行し、要求水準を満たすとともに、提出等の時間を厳守すること。 (予習時間30分、復習時間30分)</p> <p><履修要件> 1) 4年次に在籍していること 2) 3年次までのすべての専門基礎科目および専門科目の単位を修得していること 3) 履修する前年度の客観的臨床能力試験 (OSCE) を合格していること 4) 履修する前年度の総合臨床実習を履修ないし体験していること なお、臨床実習科目の履修については、各科目の履修要件を満たすとともに、これまでの学修状況なども踏まえ、臨床実習に関する判定会議にて総合的に判定します。</p> <p><注意事項> 臨床実習に伴う事前指導 (ガイダンスなど)、事後学習、および症例検討会は、全て臨床実習の一部であり、臨床現場での実習と同様に評価の対象となる。臨床現場における実習において優れた学習成果を修めても、学内における学習活動に問題があれば単位を認定しないことがある。その他、実習に必要な注意事項については、ガイダンスなどで指導する。</p>

講義名	総合臨床実習Ⅲ		
(副題)	専門分野（臨床実習）		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	7	時間	315.00
代表曜日		代表時限	
校地	川角キャンパス		
単位数	7単位/315時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 國澤 洋介	理学療法学科教員

担当教員	國澤 洋介・高倉 保幸・赤坂 清和・新井 智之・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・澤田 豊・時田幸之輔・森田 泰裕・師岡 祐輔・三浦 佳代・姉帯 沙織・清水 夏生・飛田 和基・服部 寛・甘利 貴志
科目の目標	総合臨床実習Ⅲにおいては、総合臨床実習Ⅱと同様に、臨床実習指導者の監督・指導の下に、医療チームの一員として基本的な理学療法が適切に行えるようになることを目的とする。また、臨床において生じた問題点に対して、自ら解決していこうとする態度を身につけるとともに、これまでに修得した基礎的知識・技術・態度をさらに発展させ学習することを目指す。
学習の具体的な目標	実習を通して以下の学習目標を修得する。 ①必要な検査・測定を迅速、かつ安全・正確に実施できる。 ②複数症例の実施計画書を作成する。 ③検査・測定の結果を統合・解釈し、生活機能（障害像）を説明し、討論できる。 ④複数症例について生活機能（障害像）から目標とプログラムを説明できる。 ⑤状況に合わせて修正を行いながらプログラムを体験する。 ⑥効果判定を行い、結果を説明できる。 ⑦模擬診療録を作成できる。
授業計画表	実習期間：6月2日（月）～7月18日（金） 事後学習：7月21日（月）～7月25日（金） 症例検討会：7月25日（金）
評価方法	1. 実習期間中の4/5以上の出席により、評価と単位認定の対象とする。 ※実習中に欠席と認めるのは、病気や急引きなどの正当な理由がある場合だけである。 2. 単位の認定にあたっては、出席状況、作成課題、実習目標共有シート（チェックリスト）、実習前・実習後の評価、症例検討会の内容、到達度評価の結果などをもとに理学療法学科内の判定会議にて総合的に判定する。 3. 実習前評価では、臨床実習に参加する上で必要な知識・技術・態度などを評価する。 4. 実習後評価では、実習を通して修得した知識・技術・態度などの到達度を評価する。 5. 必要に応じて学内・学外補習を行う。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	1. 標準理学療法学 理学療法 臨床実習とケーススタディー 医学書院 2. ケースで学ぶ理学療法臨床思考 文光堂 3. 問題解決モデルで見える理学療法臨床思考 文光堂
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 欠席連絡を含め、実習期間中の連絡は川角事務室を窓口とする。 【國澤 洋介】

	<p>月～金曜日の12時10分～13時10分 E-mail : kawakado@saitama-med.ac.jp, kunisawa@saitama-med.ac.jp</p>
<p>履修上の注意、履修要件</p>	<p>実習の前には実習に必要な知識・技術について十分に準備・確認すること。実習に対しての具体的目標を設定し、目標が達成できるように努力を怠らない事。また、実習中および終了後には指定された課題を遂行し、要求水準を満たすとともに、提出等の時間を厳守すること。 (予習時間30分、復習時間30分)</p> <p><履修要件> 1) 4年次に在籍していること 2) 3年次までのすべての専門基礎科目および専門科目の単位を修得していること 3) 履修する前年度の客観的臨床能力試験 (OSCE) を合格していること 4) 履修する前年度の総合臨床実習を履修ないし体験していること</p> <p>なお、臨床実習科目の履修については、各科目の履修要件を満たすとともに、これまでの学修状況なども踏まえ、臨床実習に関する判定会議にて総合的に判定します。</p> <p><注意事項> 臨床実習に伴う事前指導 (ガイダンスなど)、事後学習、および症例検討会は、全て臨床実習の一部であり、臨床現場での実習と同様に評価の対象となる。臨床現場における実習において優れた学習成果を修めても、学内における学習活動に問題があれば単位を認定しないことがある。その他、実習に必要な注意事項については、ガイダンスなどで指導する。</p>

講義名	理学療法研究セミナー		
(副題)	専門分野		
開講責任部署	理学療法学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	4	時間	180.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	川角キャンパス		
単位数	4単位/180時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 高倉 保幸	理学療法学科教員

担当教員	高倉 保幸・赤坂 清和・國澤 洋介・新井 智之・澤田 豊・時田幸之輔・大久保 雄・金井 欣秀・小関 要作・師岡 祐輔・三浦 佳代・森田 泰裕・服部 寛・姉帯 沙織・清水 夏生・飛田 和基
科目の目標	問題の発見・テーマを設定し、実際にデータを収集し、その結果を解析して論理的に考察をすすめ、それらの成果を文書にまとめるというアクティブラーニング形式の授業である。また、プレゼンテーションを行うまでの研究の過程を学生が自らの力で遂行する経験を持つことも目的とする。 将来、研究に携わる場合はもとより、一般の理学療法業務を行う場合においても研究マインドを育成することは重要であることから、本科目では学生個人のテーマのもとに教員の指導を受けながら研究過程を実際に経験する。
学習の具体的な目標	講義とグループワークを通して以下の学習目標を修得する。 1. 実施可能な研究テーマを考え、その目的を説明することができる。 2. 研究テーマの意義を文献との比較により説明することができる。 3. 研究の具体的な方法を考え、実施することができる。 4. 研究の結果について、適切な考察を加えることができる。
授業計画表	
開講に先立ち、4月～9月には研究テーマ、研究方法を決定し、配置教員の指導の下で各自課題をすすめる。10・11月：データや情報の整理と解釈を行い、結果や考察を加えて論文または報告書を作成する。研究を実施する具体的な日時については、個々の研究指導教員と相談して決めること。	
評価方法	卒業研究への取り組みと成果物を総合的に評価する。 具体的には計画の立案、課題への取り組み、研究内容の報告（論文、報告書および発表）とする。
教科書	適宜、資料を配布する。
参考書	1. 臨床研究First stage、網本 和・高倉保幸編、医学書院 2. SPSSで学ぶ医療系データ解析、対馬栄輝著、東京図書
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【高倉保幸】 月曜日2限目 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 takakura@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	研究過程においては主体的に学習を進め、指導内容や指導方針を理解して個々のプロセスを遂行すること。 また、論文作成のために文献検索や学術的検証を指向する姿勢を堅持すること。 授業計画に基づき定められた期日を厳守すること。 (予習時間30分、復習時間30分)